

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

日野町防犯パトロール 第13号

平成18年に発足した日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称：青パト）も今年で13年目を迎えました。

子どもの誘拐、殺人事件、高齢者を狙った詐欺など、さまざまな犯罪から町民を守るため、日々町内をパトロールしています。現在、25人の会員がボランティアで活動しています。

これからも皆さんのご支援、ご協力をお願いします。



▲安全を願ってパトロールに出発する青パト会員

「ホットスポット・パトロール」のすすめ

黒坂警察署長 土井田 淳

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会の皆様方には、平素から青色防犯パトロールを通じ、子どもやお年寄りが安全で安心して暮らせる環境づくりにご尽力していただいていることについて感謝申し上げます。

さて、貴協議会が発足した平成18年当時、私は、警察本部生活安全企画課で勤務し、まさに「青パト団体の認定」の事務を担当しており、貴協議会が「青パト」の認定団体となった時にもその手続きに携わっておりました。そして現在は、黒坂警察署長を拝命し、皆様方とともに、地域の安全安心を担うことになり、非常に縁というものを感じているところで、「青パト」について

は、「地域の安全を自分達で守る」というものがその目的であり、治安の維持上、非常に重要な役割を果たしています。この「青パト」による効果を今まで以上にあげるため、「ホットスポット・パトロール」と呼ばれるものがありますのでここで紹介したいと思います。

この「ホットスポット・パトロール」を行う上では、まず、「入りやすい場所（フェンスのない駐車場などで、犯罪者が怪しまれずに安心して標的に近づけることができ、誰にも邪魔されずに犯行できる場所）」「見えにくい場所（死角になる場所で、犯罪者が容易に周りの人に気づかれないまま、安心してたたくことができ、その結果、犯罪を行うタイミングを計ることも容易で、犯罪

を完結できる場所）」を把握してパトロール個所として選定することが必要です。

そして、パトロールの際には、それらの場所に15分程度滞在した後、次の場所へ移動し、また15分程度滞在するといった行動を繰り返しパトロールをするものです。このやり方は、犯罪者に対し一定のプレッシャーを与え、犯罪者がその地区での犯行を断念するという効力があるといわれ、犯罪の抑止に力を発揮します。ちょっとした豆知識ですが、今後、皆様方が活動する上での参考にさせていただければ幸いです。

終わりに、今後皆様方が活動していく上で、不安に思うことや、困ったことがあれば気軽に黒坂警察署、根雨駐在所に相談していただければと思います。

青パト会員募集中

町地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称：青パト）では、パトロール活動に参加していただける会員を募集しています。

不審者による事件を未然に防ぎ、明るい笑顔あふれるまちをつくりましょう。

会員になっていただける人は、協議会事務局（町公民館74-0212）までご連絡ください。

【活動日（巡回パトロール）】

▼根雨地区：週2回（月・木曜日） ▼黒坂地区：週1回（水曜日）

キノコ鑑定会を開催します

豊かな自然と秋の味覚を 楽しもう



今年もキノコ鑑定会を開催します！
午前中は鶉の池周辺でキノコを探します。昼食後は、採取したキノコの鑑定をします。なお、事前に採取したキノコの鑑定も行いますので、ぜひお越しください。

日時 10月13日(土) 午前9時～ ※少雨決行
集合場所 鶉の池キャンプ場駐車場
指導・講師 牛島 秀邇さん
(日本きのこセンター鳥取菌じん研究所)
参加費 1人300円
申し込み 10月9日(火)までに町公民館へ申し込んでください。
問合せ先 町公民館(電話 74-0212)

平成30年度西部地区町村公民館作品展示会

日時／9月7日(金)～17日(月)
場所／イオンモール日吉津西館1階メロディコート(日吉津村)
内容／西伯郡および日野郡内の町村公民館で活動している講座や教室などの参加者の皆さんの作品を紹介いたします。日野町からは、「墨彩会」の皆さんの作品展示を予定しています。ぜひ、お誘い合わせの上、お出かけください。
主催／西部地区町村社会教育協議会公民館部会

豊かな自然をいつまでも

ハッチョウトンボを探しに行こう



▲ビオトープにはたくさんの貴重な生き物たちの姿が▶体長約2cmのオスのハッチョウトンボ(写真:松本利秋さん)



6月23日、滝山公園の湿地ビオトープで公民館学習「ハッチョウトンボ観察会」を開きました。当日は、小学生29人をはじめ、保護者や地域の人約60人が参加。講師の池田兆一さんからハッチョウトンボの生態、自然保護の重要性などについて話を聞きました。ビオトープに設けられた木道を歩くと、約200匹のハッチョウトンボやキイトンボ、ハラビロトンボといった貴重な生き物たちが姿を見せてくれました。参加者にとって日野町の自然の豊かさを、そして自然保護の重要性に改めて気付かされた一日となりました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第61回

平安時代から「ナラバラ」？地名が語る日野の歴史⑨

上菅集落の北方、日野川を挟んで「**檜原集落**」があります。一説によると、実はこの檜原、かつては「**奈良原**」であったといえます。

保元3(1158)年の「石清水文書」には、諸国の石清水八幡宮の別宮(末社)の一つとして、「**伯耆国 種別宮 奈良原**」とあり、檜原はその「**奈良原別宮**」の遺称地とされています(鳥取県史)。よって、少なくとも平安末期には石清水八幡宮の支配下にあったと推察できますが、

檜原には現在、別宮であったと思われる神社は確認されていません。もう一つの説は、同じく平安末期の武将・長谷部信連が日野に流された際に付き従った郎党・檜原氏に由来するといふもの。この「**信連の家来説**」は、津地や小河内などにもありますが、真偽のほどは定かではありません。いずれにしても、「**ナラバラ**」という地名が非常に古くから存在しているということは間違いなさそうですね。

協力：日野町歴史民俗資料館友会の会